

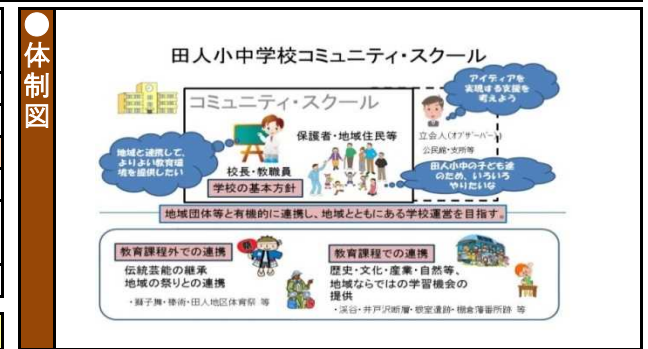
こんな活動です

# 田人ならではの コミュニティ・スクール ～地域とともにある学校づくり～

福島県いわき市	●活動名 ふるさと田人を支える人材育成	●関係する学校名 いわき市立田人小学校 いわき市立田人中学校
---------	------------------------	-----------------------------------

協働活動開始年度	平成 23 年度	関係学校数	2 校	のべ学級数	8 学級	のべ児童・生徒数	50 人
活動区分	学校支援活動		—			地域人材育成	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	1人		3人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携			有
	平成28年4月1日指定		38人				
参考URL	<a href="https://iwaki.fcs.ed.jp">https://iwaki.fcs.ed.jp</a>						

●連絡先	いわき市教育委員会学校教育課	☎ 0246-22-7542
------	----------------	----------------



田人地区において「学校・家庭・地域・パートナーシップ推進事業」などの取組により育まれてきた、公民館を軸とした地域と学校との連携・協力体制を生かし、「地域とともにある学校づくり」を進めるため、平成28年に田人小・中学校をコミュニティ・スクールのモデル校として指定した。平成26年度の学校統廃合以降、地域全体で子供を育むという意識の醸成がいつそう進んでおり、「ふるさと田人の活性化」、「ふるさと田人を支える人材育成」という目的を地域住民、学校、保護者と共有し、相互に連携して学校運営への参画や諸活動に取り組み、より良い教育環境の実現を目指している。特に、特産品のコンニャクや自然薯づくり体験、林業体験、地域の歴史・文化・芸術についての学習と発信、地域内の多世代間の交流などは、子供たちの郷土を愛する心を養い、地域ならではの文化や伝統、資源を未来へつなぐ取組となっている。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 「田人への思いを深め」「田人の未来を創造し」「周囲と協働して目標に向かって挑戦できる」児童生徒の育成をめざして、地域の特産物である「コンニャク」「自然薯」の栽培、「木工教室」の実施等、地域の多くの団体の協力の下、郷土愛を育む様々な取組を進めている。
- 地域復興祭「たびとほっこり祭」においては、中学生がイベントを企画し、地域住民と共に主催者側として村外からの来訪者を温かく迎えている。
- 東日本大震災の巨大余震により地表に現れた約14kmに渡る正断層は、近年の日本では初めて出現した非常に稀なものであり(平成28年いわき市天然記念物に指定)、震災を後世に伝える試みとして、平成27年度に田人中学校生徒全員がこの井戸澤断層断面のはぎ取り作業に当たり、標本作成に関わった。

### 【実施に当たっての工夫】

- 田人小学校・田人中学校は、「小中一貫教育推進校」であることから、児童・生徒及び小・中の教職員が常に交流できる状態にあることを生かし、事業の計画・準備、実施の際は、異年齢集団として関係団体と協力しながら活動を進めるようにしている。
- 学校運営協議会の委員の多くが地域の諸団体の代表者であることから、諸活動の実施に際し学校運営協議会において十分協議を行うことで、関係団体から円滑な支援を得ている。
- 諸活動の実施の上で、学校と公民館が連携することにより、地域にかかわる多くのノウハウを有効に活用している。

## ● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 郷土愛の醸成
  - ・小学生が地域のお年寄りと交流活動を行ったり、中学生が地域復興祭「たびとほっこり祭」での会場準備や発表、各イベントブースの手伝いなどを行ったりすることを通じ、児童生徒が地域の一員としての自覚や地元の良さを再認識することにつながった。
- 汎用的能力の向上
  - ・アンケートによれば、「事業を企画したり、いろいろな状況に対応したりする力」「コミュニケーション能力や表現力」が向上したと感じた児童生徒が増加した。

## ● その他

○「井戸沢断層」のはぎ取りや「田人ほっこり祭」での企画等のように、児童・生徒が地域の一員としてのまちづくりに参加する機会が生まれている。



地域のみなさんの協力で自然薯栽培に取り組み(総合)



田人復興祭で、イベントブースの運営に参加(総合)